

シーリング材の改修工法

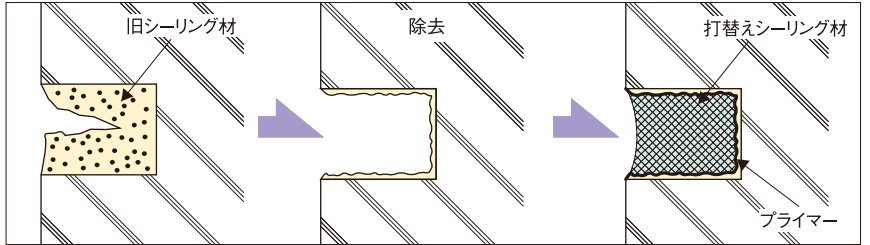
シーリング材の打替え

劣化したシーリング材を放置しておくと漏水の大きな原因になりますので、最適なシーリング材で打替えます。

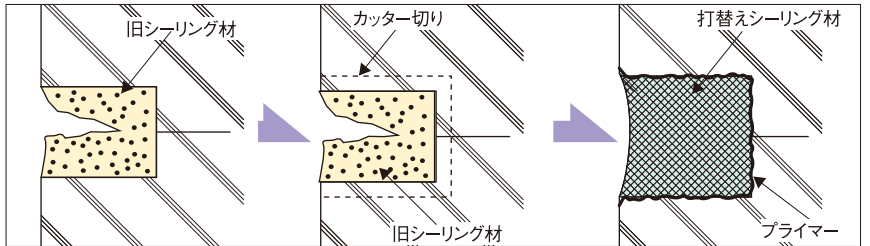
- 1 旧シーリング材除去
- 2 テープ貼り及びプライマー塗布
- 3 シーリング材充てん・仕上げ
- 4 清掃



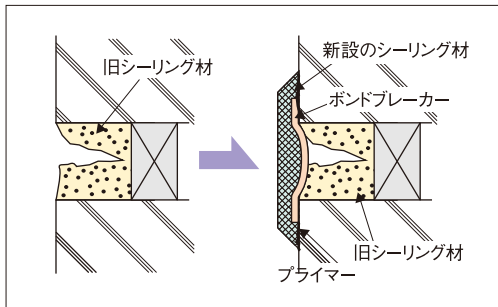
〈打替え工法〉



〈拡幅工法〉



〈ブリッジ工法〉



シーリング材の被塗装性(2成分形)

仕上塗材の種類・通称	シーリング材		変成シリコーン系		ポリサルファイド系		アクリルウレタン系		ポリウレタン系		
	付着性・汚染性※2		FR シール MS シール		PS シール		AU シール		ビューシール 6909		
	略号(仕様)※1	付着	汚染	付着	汚染	付着	汚染	付着	汚染		
仕上塗材	合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材 (薄塗材E)	リシン	外装薄塗材E	○	△	○	△	○	◎	○	◎
		マスチックA	—	○	△	○	△	○	◎	○	◎
	可とう形外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材 (可とう形薄塗材E)	弾性リシン	可とう形外装薄塗材E	○	△	○	△	○	◎-○	○	◎
		単層弾性	防水形外装薄塗材E	○	△	○	△	○	◎	○	◎-○
	合成樹脂エマルジョン系厚付け仕上塗材 (厚塗材E)	樹脂スタック	外装厚塗材E	○	○-△	○	○-△	○	◎	○	◎
		セメント系厚付け仕上塗材 (厚塗材C)	セメントスタック	外装厚塗材C	○	○	○	○	○	◎	○
	合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材 (複層塗材E)	複層E	複層塗材E	○	△	○	△	○	◎	○	◎
	反応硬化形合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材 (複層塗材RE)	複層RE	複層塗材RE	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎
	防水形合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材 (防水形複層塗材E)	複層弾性	防水形複層塗材E	○	△	○	△	○	◎	○	◎
通気性仕上塗材	—	—	○	△	○	△	○	◎	○	◎	
水性系塗料	微弾性フィラー	—	—	○	△	○	○-△	○	◎	○	◎

※1 JASS 18およびJASS 23

※2 付着性/○:良好 △:可 ×:不可 汚染性/◎:汚染なし ○:塗料の種類、仕様により汚染の可能性あり(実用上問題なし) △:場合によって汚染あり(バリアープライマーを使用すれば可) ×:汚染あり(バリアープライマーを使用しても不可)

※変成シリコーン系、ポリサルファイド系、ポリウレタン系シーリング材の上に、油性系、アルキッド樹脂系塗料などの酸化重合型塗料、又は弱溶剤1液形ウレタン樹脂塗料を塗布すると、塗膜の乾燥が極めて遅くなったり、シーリング材の硬化表面が軟化、溶解したりすることがありますので、使用を避けてください。